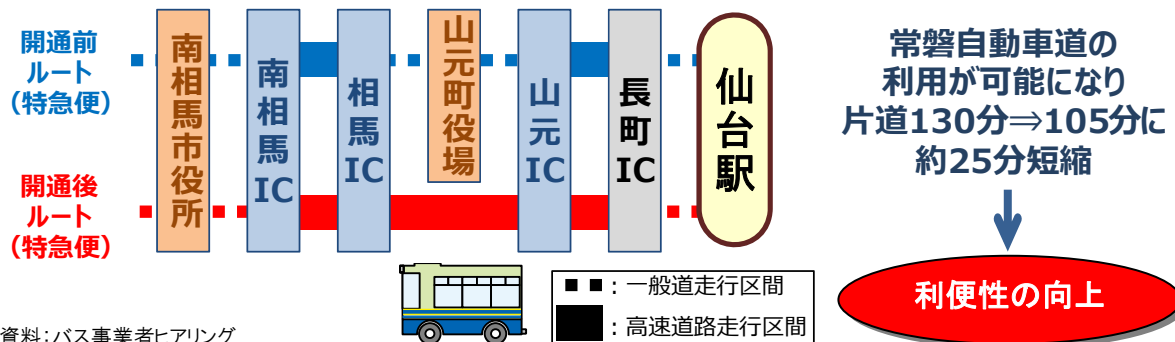


高速バスの利便性向上、所要時間短縮で利用者が約5%増加

- 常磐道の開通に合わせて南相馬⇄仙台間の直行高速バスが12月7日より増便運行
- 定時性確保、所要時間短縮により高速バス利用者が約5%増加
- 開通以前、高速バス以外を利用していた方々が、買い物や観光・レジャーを目的に高速バスを利用

▼南相馬⇄仙台間のバスの利便性向上



▼南相馬⇄仙台間のバスの運行便数増加

	常磐道開通前	常磐道開通後
通常便	8往復/日 (片道140分)	8往復/日 (片道140分)
特急便	2往復/日 (片道130分)	4往復/日 (約25分短縮⇒片道105分)
計	10往復/日	12往復/日



- ・仙台直行の特急便
1日2便⇒4便に拡大
- ・利用者数が開通後約5%増加
(前年比)

資料：バス事業者ヒアリング

※片道の所要時間は時刻表 上下線平均値より

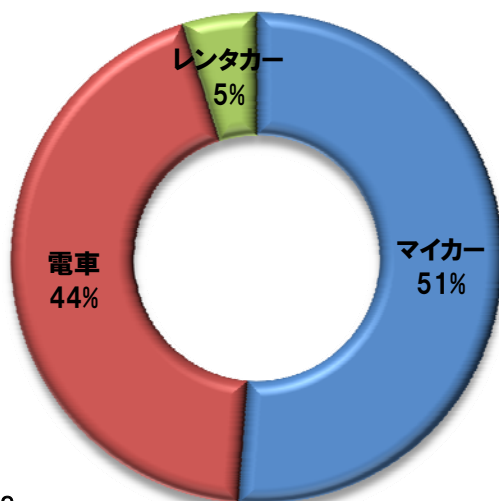
■バス事業者の声

- ・常磐道の開通により特急便(南相馬市⇄仙台市を直行運行)を4便運行可能となった。
- ・開通前は、一般道の渋滞により到着遅れが発生していたものの、常磐道の開通により、**時刻表通りの運行が可能となり、定時性が確保された。**
- ・常磐道開通から1ヶ月経過し、特急便の**所要時間が短縮され、1ヶ月間の利用者数は前年比で約5%増加となっている。**



▼常磐道開通による移動手段の変化

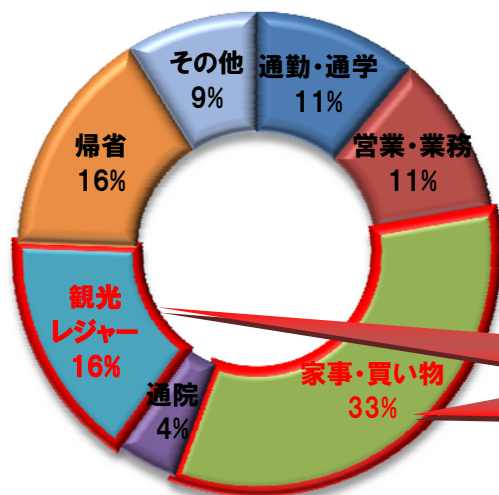
開通前は高速バス以外を利用していた方々の移動手段



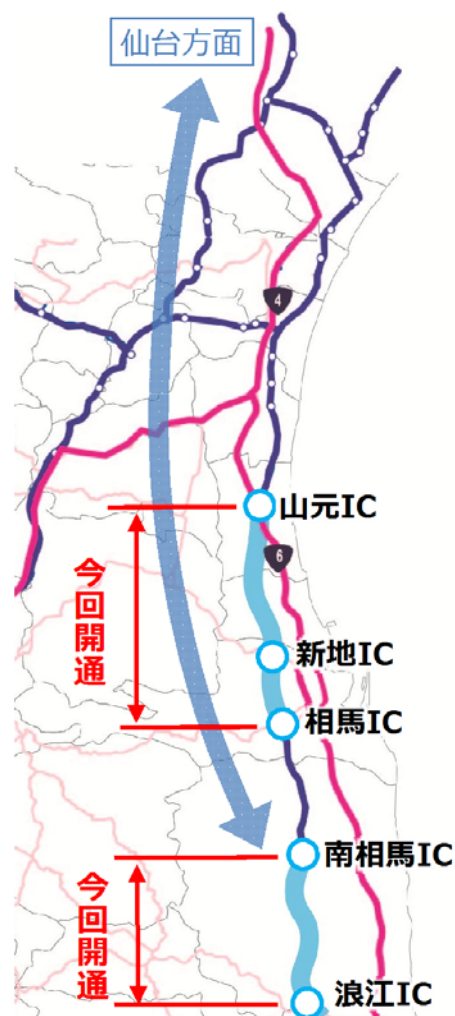
回答数 n=109

内 開通前に高速バス以外を利用していた方々 n=41

開通前は高速バス以外を利用していた方々の高速バス利用目的



家事・買い物、観光レジャー
割合は約5割



■バス利用者の声

- ・避難してバラバラに生活している家族や友人と、震災前のように会えるようになった。
(南相馬市在住50代女性)
- ・開通前と比べ仙台に行きやすくなり買い物などで活動エリアが広がった。
(南相馬市在住20代男性)
- ・時間に余裕ができ、多くの施設を回れるようになった。(南相馬市在住30代男性)
- ・南相馬～仙台が高速連結したので、特急便で通勤時間が30分減った。
(南相馬市在住40代男性)
- ・仙台～南相馬間を以前はレンタカーで移動していたが高速バス利用で楽に移動できるようになった。(東京都在住30代男性)

